

第3学年 社会科学習指導案（公民的分野）

1 単元名 「平和主義の選択 ～日本は憲法第9条を守るべきか，改正すべきか～」

2 単元について

日本国憲法はすべての法の中の最高法規として位置付けられており，憲法と国民の間での社会契約のもと自由と権利が守られ，民主的な政治が行われている。本単元では，日本国憲法が制定された経過と歴史的な意義，そして世界に誇れる三大原則を柱として，日本国憲法が成り立っていることを押さえることが重要である。特に民主的な国家の形成には，基本的人権の尊重が人間として生きるために不可欠であり，また国民主権として政治を最終的に決定する権利が国民にあり，その権力は国民が選挙で選んだ代表者によって行使されている。そこで，各時間の学習活動を通して，憲法に関心をもたせ，より民主的な社会にしていくためにはどうすればよいか考えさせていきたい。また，平和主義のかかえる問題点を例に，日本国憲法前文や第9条に込められた願いを理解させるとともに，自衛隊の成り立ちや現状について考えさせたい。そして，日本国憲法前文に述べられている，恒久平和や平和のうちに生存する権利をもち続けるために，将来の日本国を担う主権者として，自分の意見をもつとともに，他者の意見と比較してよりよい国家を築くためにどうすればよいか判断をする力を育てたい。

4月に実施したNRT（標準学力検査）によると，本学級は標準偏差値が52.9と全国平均より少し高いが，中間層の生徒が多くを占めている。また，地理より歴史の方を得意としている生徒が多い。全体的に学級の雰囲気は明るく，社会科の授業への取り組みも大変意欲的である。毎授業の最初に5問テストを行っているために基本的な語句の知識・理解は高まっている。しかし，約半数の生徒が，資料を用いた問題や思考・判断し文章で答える問題を苦手と感じている。そこで，いくつかの資料を提示し，その資料を適切に読み取り，自分の考えとして判断できる力を育てていきたいと考えている。

指導するに当たり，次の3点について配慮して指導を行いたい。三大原則について理解し，望ましい主権者としての在り方について考えさせる。国際社会の変化に伴う今後の日本としての課題点を探し出す。平和主義の重要性と国際貢献の面から，将来の日本の望ましい平和的国家としての姿を考えさせる。以上のことについて，資料を分析し，生徒の思考力や判断力を広げ高めるためにグループ活動を取り入れ，多様な価値に気付かせたい。

3 単元の総括目標

平和的国家の形成者として，自ら探し出した課題に意欲的に取り組み，多面的・多角的に追究することを通して，望ましい平和的国家の在り方について考察できるようにする。そのために，適切な資料を選択・分析し，考察した過程や結果を分かりやすく述べることを育てる。

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
平和的国家の形成者として，課題を自ら探し出し意欲的に取り組もうとする。	民主的な国家としての役割や主権者としての役割を多面的・多角的に追究することで，望ましい平和的国家を考察することができる。	適切な資料の収集・分析をし，学習に役立つ情報を基に，考察した過程や結果を分かりやすくまとめ説明することができる。	日本国憲法のあらましと憲法の三大原則である「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」及びその意義について理解している。

5 単元の指導計画（全3時間）

- (1) 平和主義と自衛隊・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- (2) 日本は平和を維持するために憲法第9条を守るべきか，改正すべきか
(資料分析，自己判断)・・・・・・・・1時間
- (3) 日本は憲法第9条を守るべきか，改正すべきか
(意見交換，最終判断)・・・・・・・・1時間 本時

6 本時の目標

- (1) 国際状況と平和主義について理解し、本時のテーマを追求しようとする。【関心・意欲・態度】
- (2) 分析した資料を基に、多面的・多角的に考察した過程や結果を説明することができる。

【社会的な思考・判断】

7 本時の展開 (3 / 3)

	学 習 活 動	教 師 の 指 導 ・ 支 援
導 入	1 前時の学習を復習する。 2 本時の学習課題を知る。	前時に分析した資料の確認をする。
	日本は憲法9条を守るべきか、改正すべきか	
展 開	3 自分の主張を明確にする。	挙手によって、現段階での「守るべき」「改正すべき」のそれぞれの立場の人数を確認し、学級全体の状況を生徒に把握させる。
	4 学習課題を解決する。 (1) グループ内で意見を出し合い、主張(仮説)を立てる。 (2) 「守る」と「改正する」それぞれの主張をまとめる。	グループ内で「守る」と「改正する」の両方の意見を出し合わせて、考えを深めさせる。 話し合いの中で出された主張をワークシートに記入するように指示する。 机間支援を行い、記入できていない生徒に助言をする。 それぞれの主張はどのような社会を目指すことになるのかということについての自分の考えをあらかじめワークシートに記入させる。 各自の考えを基に、グループで考えをまとめさせる。 発表する際は、その理由や根拠となる資料についても付け加えて発表するよう事前に伝えておく。
	(3) グループでまとめた主張を発表する。	
ま と め	5 「日本は憲法第9条を守るべきか、改正すべきか」ということについての判断をする。 《最終判断》	資料で判断したことやグループで話し合ったことを参考に、「日本は憲法第9条を守るべきか、改正すべきか」について、最終的な自分の主張をまとめるように指示する。 自分の主張をまとめるに当たっては、必ずしもグループでまとめた主張に沿う必要はなく、他のグループの発表等も参考にしながら、個人として判断することを確認する。 <p style="text-align: right;">【評 価】</p>

8 本時の評価

評価規準	分析した資料と周りの意見を参考に、最終判断を明確に主張することができる。		
評価基準 支援	A	B	C
	それぞれの主張を比較し、多面的・多角的にとらえ、簡潔に主張することができる。 社会像を実現するために大切なことを再度確認する。	一方の主張をとらえ、簡潔に主張することができる。 守ると改正の両方の考えをとらえ、よりどちらの方がよいか資料を基に主張させる。	最終判断と理由付けが簡潔に述べられていない。 最終判断を再確認させ、周りの意見を参考にさせる。
評価方法	ワークシート (最終判断)		